
ルーキー 第1章始まり...

ロキ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ルーキー 第1章始まり…

【Zコード】

Z5972A

【作者名】

ロキ

【あらすじ】

毎日が退屈だった。平凡だと毎日思つてた。そんな、少女が出会つたのは?ファンタジー恋愛コメディ?

第1話始めの一歩

いつも平凡だと思った。いつもと同じ勉強、いつもと同じ生活…

「たいへつ~」

一人の少女が歩いてくる。髪は黒くてそんなに長くは無

い。

いかにも、女子高生らしかった。「なんか、面白いことないかな

い。」「？」

その時、少女の目にに入ったのは

「占いの館?なんか、おもしろそうね…」

少女はそんなに、退屈だったのか? 少女は何もためらう事なく入っていく。 中に入ると、一人の占師らしき人が座っていた。

「今日は何の用ですか?」

と、聞いてきた。少女は口元もつてしまつた。

「退屈だからとは言えないしなあ…」

少女が考え事していると、占師はそれを邪魔するかのように話始めた。「何か…悩みがあるなら、ここに行つたら?」

と、紙を渡された。そこには、地図が書かれてあった。

「ここは?」

と、尋ねると占師は、

「ここは、昼夜事務所と言つて悩みとか相談に乗つてくれるわ……あつと。」

そうして、少女は占師と別れた。

「さて、どうしようか? 行つて見るだけ行つてみるか。」

そうして、少女は地図どりの道を通りて事務所に行くことにした。少女はかなりドジらしく、やつして少女は歩き始めた。

第1話始めの一歩（後書き）

前回同じの書いたんだよね～でも、前のとは違つ。やつと慣れたから。読んでくれてありがとうございます。まだまだ未熟ですが頑張ります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5972a/>

ルーキー 第1章始まり…

2011年1月27日03時33分発行